

2026年度(令和8年)活動方針

(1) 姫路ろうあ協会を発展させよう

- ①『・ひとりぼっちで考えるよりみんなで考えよう・ひとりで生きるよりみんなで生きよう・ひとりで進むよりみんなで進もう』を目指すと共に友情の輪を広げよう！
- ②組織運営の充実と強化
- ③職員体制の見直し及び強化
- ④関係団体（兵聴協・姫身協・はりまふくろうの家等）との連携の強化
- ⑤機関紙「姫路ろうあ広場」の内容充実と読者層の拡大
- ⑥姫路手話サークル連絡会（虹の会・サンゴ樹・夢ほたる・ポパイ）との連携の強化
- ⑦防災知識を高めよう
- ⑧姫路手話通訳者協会との連帯の強化

(2) 聴覚障害者の福祉向上に取り組もう

- ①姫路市手話通訳者設置に対して要望
- ②姫路市との関係強化
- ③手話通訳制度の充実（手話通訳派遣範囲の拡大を含める）
- ④手話奉仕員養成講座＆手話通訳養成講座の運営強化
- ⑤姫路市消防署との関係強化
- ⑥ふれあいサロンの継続（聴覚障害者が憩い、また気軽に談話できる場を作る）
- ⑦第50回姫路ろうあ敬老会（令和8年 9月13日）
- ⑧第29回姫路ろうあ者のつどい（令和8年 9月13日）
- ⑨姫路ろうあ協会新年会（令和9年 1月10日）

(3) 「姫路市手話言語条例」施行により、手話の啓発を含めて、一層推進を進めます 又、聴覚障害者の社会資源を増やす取り組みを図ります